



神奈川県

KANAGAWA



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。
SDGs 未来都市 神奈川県

知って得する!

活用の手引き

神奈川県

ME-BYO

リビングラボ

応援

協力

助言

未病関連製品・サービスの事業化を神奈川県がサポートします!



目指すのは未病の改善

未病の改善

健康

未病

病気

神奈川県では日常生活において、心身の状態をより健康な状態に近づける「未病の改善」を推進しています。未病の改善には、「食・運動・社会参加(交流)」の3つの柱が重要としています。

活用してみませんか?

「神奈川県ME-BYOリビングラボ」は、神奈川県が超高齢化社会を乗り越えるため、健康維持・未病改善を進める製品・サービスの事業化を通じた、未病産業の育成及び拡大を、県が主体となって市町村・企業・県民の皆様とともにサポートする仕組みです。

活用すればこんなに差が出る!

ME-BYOリビングラボ活用 3つのメリット

応援
メリット1

市町村、企業、大学・研究機関等に働きかけ、
実証に必要な調整をします

協力
メリット2

県の記者発表により、実証内容や実証の評価など
実証事業をPRします

助言
メリット3

信頼性の高い検証結果が得られるよう
分野に応じた専門委員がアドバイスします

ME-BYOリビングラボの目的



地域
社会課題
解決

+

未病産業
創出

『神奈川ME-BYOリビングラボ』

未病関連（ヘルスケア）の製品・サービスの効果を、
実際の生活者（リビング）とともに実証（ラボ）できる仕組みです！

申込みから、決定、実証事業の調整、その結果の評価までどのような流れになるのか、
ステップごとに紹介します。お気軽にご相談ください。

未病産業の健康課題へのアプローチを科学する

地域や職域における健康課題に対し、新たな技術やサービスの提供にあたり、未病に適した程よいレベルの「レギュラトリーサイエンスとレギュレーション」により、新たな技術・サービスを検証し、社会実装のための科学的エビデンス構築を目指す。その結果、県民の皆様がより安心して未病改善に取り組めるようにするのが、神奈川ME-BYOリビングラボの役割です。

よくある質問

Q 申込費用はどのくらいかりますか。
A 申込費用はかかりません。ただし、倫理審査に係る費用と実証事業に係る費用は負担していただきます。

Q 神奈川県内に事業所がない企業でも申込みはできますか。
A 事業所が神奈川県内にあるかどうかは問いません。ただし、神奈川県内を実証フィールドとする必要があります。

Q 複数企業で 申込むことは可能ですか。
A 可能です。また、実証に必要な他の企業とのマッチングもサポートします。

Q 実証の規模（参加人数）はどれくらいですか？
A 実証の内容によりませんが、10人から100人程度まで必要に応じて集められるように協力します。

Q 倫理審査とはなんですか。県が実施する審査ですか。
A 人を対象とする研究を行う場合、対象者の人権と尊厳を重んじ、個人情報の保護に留意する必要があります。そこで対象者を保護し、研究の公正と信頼性を確認することを目的とする審査を倫理審査といいます。県ではなく、事業者が手続きを行う審査で、主に大学や研究機関、学会、研究開発を事業とする企業や団体、民間の審査機関などで受け付けています。

STEP 1 事前面談

神奈川ME-BYOリビングラボについて知ってもらい、どのような実証を行いたいのか、事前面談を行います。事前面談は随時実施しています。



神奈川県/
リビングラボ事務局

STEP 2 企画案提出

ご希望される実証内容について、企画書にまとめてご提出ください。県にて実証の事前確認を実施します。

この時点では仮申込みです

STEP 3 研究計画の具体化

事務局や専門委員、実証フィールドヒアリング等を通じて、研究計画書の作成を進めていきます。

STEP 4 採択審査

実証計画について、県・専門委員による採択審査を行います。採択されれば、倫理審査のステップに進んで頂きます。

STEP 7 実証スタート！

事業者は「神奈川ME-BYOリビングラボ」で採択された実証事業として、実証フィールド（県内市町村、企業等）と連携し、実証事業を開始します。リビングラボ事務局は、計画通りに実証が実施されているかモニタリング（月次報告）を行います。



実証事業の参加者集めも、実証フィールドと協力して行います。

実証フィールドは神奈川県内です。県民が参加者となり、製品・サービスの機能・効果等を検証します。



STEP 6 採択決定・記者発表

倫理審査の承認後、神奈川県に対して正式に、実証事業の申込を行い、採択となります。採択後に、県と共同で記者発表による発信ができます。

STEP 5 倫理審査（事業者が行います）

県の採択審査後、自身で選定した倫理委員会により、倫理審査（「よくある質問」参照）を行ってください。倫理審査に馴染みがない場合もお気軽にご相談ください。

STEP 8 評価

実証事業終了後、速やかに実施報告書を作成し、リビングラボ事務局に実証事業の結果を報告します。実施報告書については、専門的知見を有する有識者（専門委員）と神奈川ME-BYOリビングラボ審査委員会が評価を行います。

目指すのは

STEP 9 社会実装

事業者は、実証事業で得た成果を、学会等で発表するなどして社会的な評価を高めたり、新たな研究または製品・サービスの改良に繋げたりするなど、社会実装に向けて活用していきます。

未病関連の新しいサービスが市場（生活者）へ



募集条件（次の全ての要件を満たす事業）

ア 県民の意識・行動変容につながる未病関連の製品・サービス^{※1}の機能・効果等を県内の実証フィールドで検証する実証事業であること

- 次の領域を重点分野とします。
 - ①健康に関する意識・行動変容
 - ②生活習慣（メタボリックシンドロームなど）
 - ③生活機能（高齢者の運動機能など）
 - ④認知機能
 - ⑤メンタルヘルス・ストレス

※1「未病関連の製品・サービス」とは、ICTや金融などの分野を含めた、広く未病の見える化や改善に資するものを指す。

イ 次の事項に該当しないこと

- ①医薬品、再生医療等製品を用いる実証事業
- ②治療・診断を目的として医療機器を用いる実証事業
- ③食品等、体内摂取するもの自体の効能効果の検証を目的とする実証事業

ウ その他、侵襲^{※2}性が高い製品・サービスを用いる実証事業
※2「侵襲」とは、研究目的で行われる、穿刺、食品摂取、心的外傷に触れる質問等によって、参加者の身体又は精神に傷害又は負担が生じることをいう。

エ 募集要項に定めた手順に従って進められ、倫理審査等の必要な手続きを完了した実証事業であること

オ 原則、実証事業の参加者に対して経済的負担を求めないこと

カ 提案する実証事業において、原則として、神奈川県健康管理アプリケーション「マイ ME-BYO カルテ」に実装する「未病指標」を活用すること

応募資格

未病産業研究会の会員（法人）であること（入会予定を含む）
※その他、応募資格の詳細、提出書類については、募集要項（HP掲載）をご確認ください。



神奈川ME-BYOリビングラボの事例



エーテンラボ株式会社

エーテンラボ株式会社は、40歳以上70歳以下の2型糖尿病・予備群(HbA1c5.6%以上7.0%未満)に3か月から5か月間、習慣化アプリ「みんなチャレ」を提供し、生活習慣改善の効果検証等を行うとともに、

連携可能な実証フィールドとの事業から効果的な協業モデルの探索を行いました。



実証フィールド

- 市町村
- 健康経営企業
- 医療機関



emol株式会社

emol株式会社は、妊産婦の心のケアに関心が高い県内の市町村(平塚市・鎌倉市)と連携し、AIボットと会話することで妊産婦の心の悩みを改善する、アプリ「emol(エモル)」を提供し、産後のメンタル不調への対策について効果を検証しました。



実証フィールド

- 市町村



株式会社 早稲田エルダリーヘルス事業団

株式会社早稲田エルダリーヘルス事業団は、軽度の介護認定者等にデイサービスを提供する施設等で、自立した生活に必要な体力を身に付ける機能訓練に歩行解析デバイス「AYUMI EYE」を適用し、利用者の意識・行動変容、及び指導するスタッフの負荷軽減等への効果を検証しました。



実証フィールド

- 介護施設



カゴメ株式会社

カゴメ株式会社はエーテンラボ株式会社と共同で、健康経営を推進する企業の従業員を対象として習慣化アプリ「みんなチャレ」(エーテンラボ株式会社)を用いて「野菜を食べて貯めたポイントで子ども食堂に野菜を寄付しよう」という仕組みを取り入れた食生活改善プログラムの野菜摂取量増加効果を検証しました。(第82回日本公衆衛生学会で報告)



実証フィールド

- 健康経営企業

